

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年8月21日

【2017年8月12日～2017年8月18日までの推移】

【1】先週の回顧

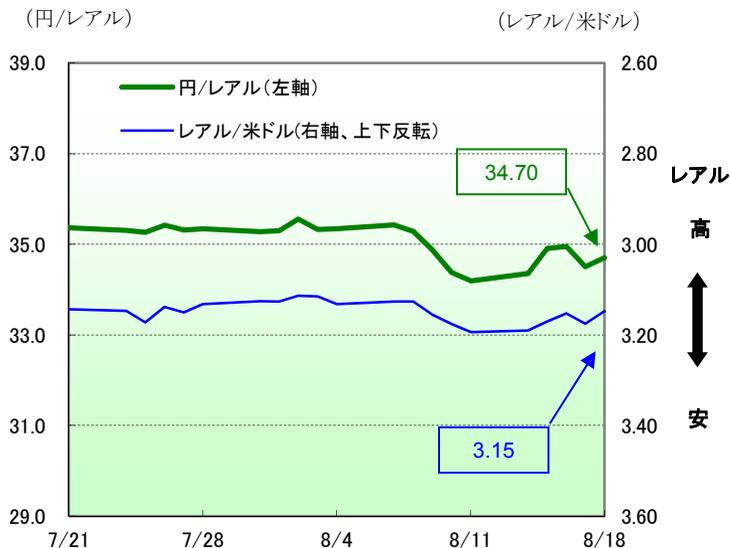
先週レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。2年国債金利は小幅に低下しました。

ブラジル政府は、財政目標の改定を発表しました。主な内容としては、2017年と2018年の基礎的財政収支の目標が2016年と同等の水準へ下方修正されました。

格付会社スタンダード&プアーズ(以下、S&P)はブラジル国債に対する「クレジットウォッチ・ネガティブ」の指定を解除しました。S&Pは引き続き格付け見通しを「ネガティブ」とし、今後の年金改革の議会審議や政局の行方を注視する姿勢を示しています。

財政目標の引き下げは予期されていましたが、前年と同水準となることで安心感が広がり、レアルは上昇しました。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年7月21日～2017年8月18日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

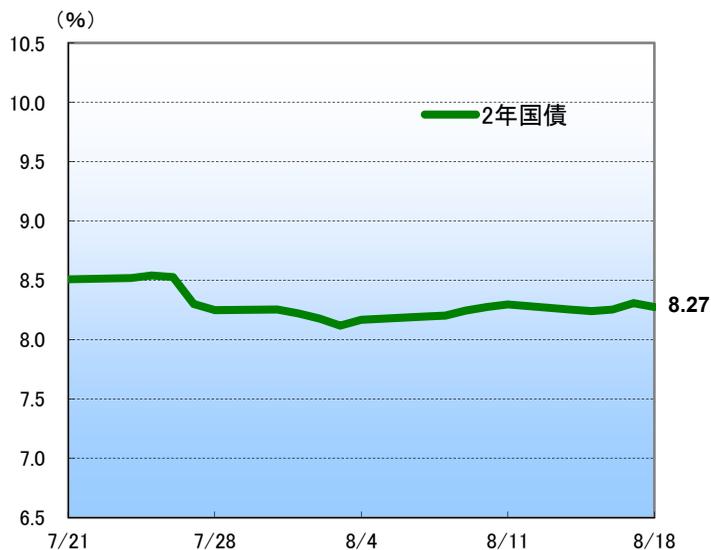
【2】今週の見通し

今週は、インフレ率などの経済指標の発表があります。インフレ率の上昇は抑制されることが見込まれていますが、市場予想を超えて低いインフレ率となった場合は、利下げ観測が高まると想定します。

テメル大統領の支持率は低下しており、連立政権内部の政党が政権を離脱する動きが強まる恐れや、社会保障改革法案の審議・採決が先送りされる懸念があります。政府や議会が改革を進める意志は強いとみられるものの、政局の動きや、それを踏まえた今後の財政再建の行方を注視していく必要があると考えています。

政府や議会が社会保障改革などの構造改革を着実に進める場合は、ブラジル経済に対する信認改善や利下げによる景気回復と相まって、レアルの下支えになると期待されます。

【ブラジル 金利推移】(2017年7月21日～2017年8月18日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>